教育を受ける機会に
格差が生じないように

教育

学力・学習状況調査の公表は

学力の特定の一部なため、公表はしない

井口亮一 議員

質問 4月24日に実施された全国学力・学習状況調査について。

①本町での調査結果の公表は

②調査結果の活用は

③子どもの貧困問題と学力は

答弁 学校教育課長 ①調査結果については、本調査が学力の特定の一部であることから、町名・各学校名を明らかにした公表は行なわない方針です

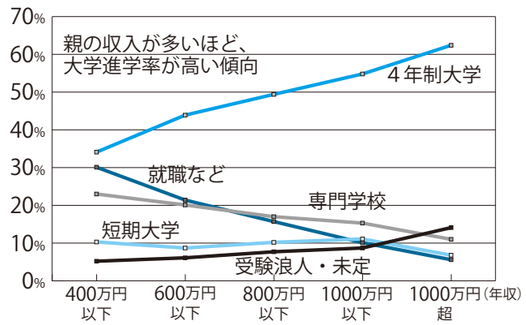
②調査結果の活用は、教育委員会で町全体の結果を分析し、改善に向けた取り組みを推進していきます

③子どもの貧困率は15・7％で、これは6人に1人という数値です。そこで、子どもの貧困を個人の責任としないで社会の問題として考え、対策に取り組もうとする機運が高まっています。

質問 親の収入と、子どもの学力や高校卒業後の大学進学率について明らかな相関があります。こうした状況の家庭に対する支援策は。

答弁 学校教育課長 本町の詳しい数値はありませんが、経済的理由によって、学びたくても学べず、結果として、学びたいという意欲をなくしてしまうということがないように、支援していきたいと考えます。

親の収入と高校卒業後の進路格差
（進路・進学の割合）



東京大学大学院教育学研究科大学経営・政策研究センター
「高校生の進路追跡調査第１次報告書」より

補助事業の計画

まちの活性化を

栃本親水公園整備事業など３件を予定

いつやるの？
今でしょう

大戸久一 議員

質問 経済再生に向け、国中が立ち上がろうとしている。川のまるごと再生プロジェクト以外に、どんな補助事業を計画し、進んでいるのか。

答弁 建設課長 槻川流域地区における道路改良工事・観光トイレ整備工事・栃本親水公園整備事業を3本の柱として、平成26年度完成を目指しています。

質問 晴雲酒造等をはじめとする歴史的街並み、趣のある路地裏、魅力ある観光資源の保存・修復は。

答弁 産業観光課長 観光資源として、昭和の香りが残る中心市街地の魅力ある町づくりには、行政だけでなく、町民や民間団体等と話し合っていく必要があると思います。

質問 当町の自然・街並み・酒蔵・和紙の体験等、魅力ある観光資源を生かした個性的なコースの設置は。小川・嵐山の遊歩道の設置を行ない、東武鉄道とのタイアップ、エフエムナックファイブ等を利用したPR活動を検討していただきたいが。

答弁 産業観光課長 現在の８つのルートに、５月に完成した栃本親水公園を加えたハイキングルートの変更を計画していきたいと考えます。

整備された槻川遊歩道

健康増進の具体策は

質問 住民の健康診断・健診の告知・奨励を行ない、１000世帯に1人程度で生活習慣の改善を促す「健康指導員」または「いきいきサポーター制度」の創設は。

答弁 健康増進課長 いつまでも健康で生き生きと暮らせる長寿社会の実現を目指し、食や運動について生活習慣の改善に関する知識を家族や友人に伝え、実践を促す取り組み「健康長寿サポーター事業」を実施します。

就学困難な家庭への支援

町奨学金制度の充実は

財政担当と相談し検討していきたい

がんばる若者を
もっともっと応援して！

柳田多恵子 議員

質問 当町では、経済上の理由により就学困難な家庭（人）のために独自の奨学金制度があるが、返済の条件（卒業した翌月から、高校時なら3年間、大学時なら4年間で全額返済）など厳しいものがある。保証人の条件（連帯保証、父母はなれない等）の緩和や返還猶予、基金を増やして返還期間を延長させるなど充実を図り、さらに利用しやすい制度にすることは。

答弁 学校教育課長 保証人は、祖父母については認めているケースもあります。返還の猶予は、就職が困難、他の学校でさらに学ぶ機会を得たなどの理由で、申請があったものについて2年から3年の間認めたことがあります。返還期間を延ばすことは財政の裏づけがなければできません。ご指摘いただいた点について、町財政担当と相談し、検討していきたいと考えます。

夢の実現のために

町独自のワクチン助成は

質問 ①大人用風疹の予防接種費用の助成は ②任意接種のおたふく風邪や水ぼうそう、ロタウイルスなどのワクチン接種を、国が定期接種化するまで町で独自助成をすることは。

答弁 健康増進課長 ①妊娠予定・妊娠希望のある女性、妊婦の夫を対象に予防接種費用の一部（３000円）の助成費用を今回補正予算でお願いしました ②国会の動きもあります。国の動向を注視し、関係課と協議しながら考えていきます。